



@RyoMa_0923 2018年02月01日に投稿



DockerHubでautomated build～ 他人の禪で相撲をとれ～

docker DockerHub



1



目的

DockerHubのautomated buildをつかって、
Githubのリポジトリ上のDockerfileが更新されるたびに
イメージが自動ビルドされるようにする。

これでローカルのリソースを使うことなく他人の禪で相撲が取れる

真面目に述べるとDockerがインストールされていなかったりといった
状況でもgitクライアントとテキストエディタさえ動作すれば
Dockerコンテナイメージのビルドができます。

手順

リポジトリの準備

GitHubでリポジトリを作ります。

Dockerfileを準備

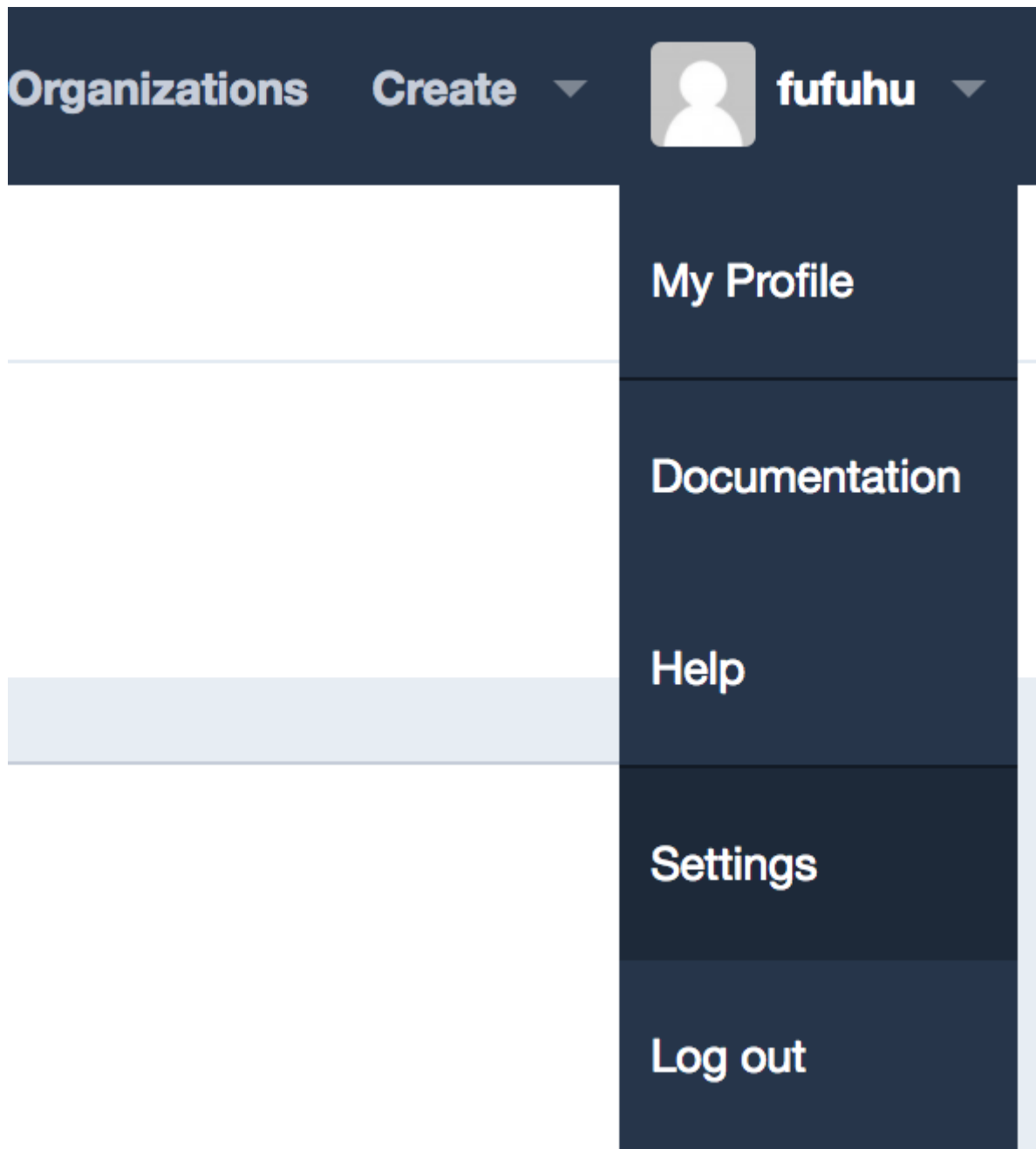
リポジトリをcloneして Dockerfile を作成する。

Dockerfile

```
FROM alpine:latest
CMD /bin/sh -c 'echo "Hello automated build"'
```

DockerHubアカウントとGitHubアカウントを連携させる

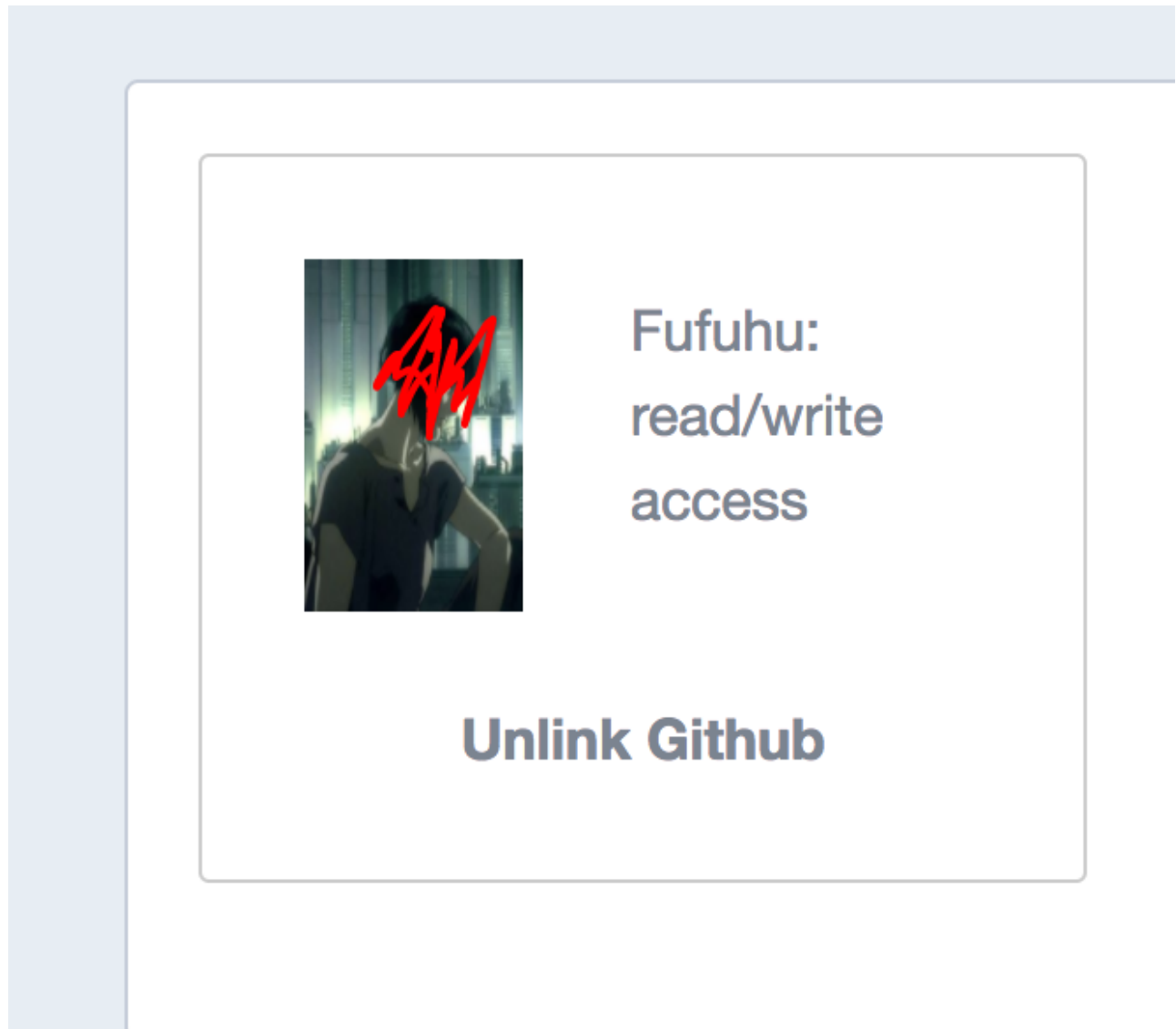
DockerHubにログインし、画面右上のドロップダウンメニューから
Settings を選択する。



Linked Accounts & Services タブを選択し、
Link Githubを選択する。

Public/Privateリポジトリの両方を利用したかったりするなら(A)を選択する。

Githubのログイン画面が表示されるので、パスワードを入力するとDockerHubの先ほどの画面に自身のアカウントアイコンが表示されるようになる。



これでDockerHubアカウントとGitHubアカウントの紐付けは完了。

automated buildの設定

右上の Create ドロップダウンメニューを選択する。

Create Auto-build Github となっている方を選択。

連携させたいGithubリポジトリを選択。

リポジトリの名前を設定したい場合は、テキストフィールド(Repository Namespace & Name)の中身を修正する。設定が終わったら Create ボタンをクリックする。

リポジトリが作成される。

イメージのビルド設定確認

Build Settings リンクをクリックするとコンテナイメージのビルド設定を確認できる。

ここで、gitのリポジトリのブランチごとにイメージのタグを変えたり、Dockerfileの配置場所を指定したりといった様々な設定を行うことができる。また、手動でビルドを行うことも可能。

動作確認

試しに、Dockerfileを修正してcommit & pushすると自動でビルドが開始される。

無事完了すると Status が Success となり、イメージを docker pull できるようになる。

[🔗 編集リクエスト](#)[📁 ストック](#)[👍 いいね 1](#)[🐦](#) [f](#)

Fujiwara Ryoma @RyoMa_0923

インフラエンジニア？記事の内容、およびそのなかで述べられている見解は個人のものであり、所属組織とは関係ありません。また、記事内容の正しさは必ずしも保証されるものではありません。

[フォロー](#)